

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由  
同志社女子大学の食物栄養科学科は伝統があり有名で知り、元々栄養や食品などの勉強をしたいなと思い、このたび、志望校に決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

4月～6月上旬まで緊急事態宣言が出たため、自宅での勉強を存続できず、少し始めはやる気が中々出ない事もありました。どうもストレスが溜まり、毎日ランニングやランニング機に行ったり散歩に行ったりと体を動かしていました。午後は英単語や学校から出ている課題をしっかりとしました。この頃は特に危機感があった訳ではなく、自分のペースで勉強していました。理科(生物と化学)数学(IAIB)英語の教科書を基礎を固めようという気持ちで勉強に取り組んでいました。

受験勉強の進め方【夏休み】

勉強に対する意識が変わり、転機となったのが、春に受けた模試の結果が返却された時でした。同志社女子大学はE判定でした。第2志望校もE判定はよくなく、落ち込んだのが覚えています。この時点で同志社第1志望校を決めたのが悔しい気持ちがありました。この頃からは始めたのが、時間の有効活用です。電車に乗る時間やちょっとした隙間時間を見つけては、英単語や生物や化学の教科書を読んだりしました。夏休み前までの模試は春と同様に良い成績は出ませんでした。夏休みからは勉強のペースを上げて、しっかりと塾の自習室に通ったり行っていました。ハードなスケジュールで自分を追い進ませましたが、成績を上げたという一歩が頑張りました。昼食の時間は同じ塾の友達と話をしたりして、休憩も大切にしていました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

春にも確実に伸びて、成績も上がってきた頃に、推薦入試も視野に入らせていました。元々一般入試を志望していたので間に合う様に勉強を続けようという意識を持って取り組んでいました。同志社の推薦入試・一般入試の過去問は解き方を覚えました。またセンター試験の過去問や他大学の入試問題にも取り組んでいました。他大学の入試問題を解くことはデタラヒでもおかしな事はないけれど、しっかりと各科目に近づくために一番大切なプロセスだと思っています。またこの頃は、関関同立や産近甲龍、女子大は武庫や神戸女などの問題を少し覗いてみるくらいはいいかもしません。また生物の受験を志望している方は、論述問題も大切にしたいです。この頃は、知識の整理や確認する作業を行って、焦っていた覚えはないです。英語の単語帳は何度も反復して、単語の順番を覚えるくらいやるのがオススメです。自分に自信を持つまでの状態に持っていけたらベストです!!

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

スランプの時や体調が悪い時は無理に勉強を続けず、休むことも必要だと思っています。私の場合は英単語や理科などの勉強の息抜きにしたりして、またく勉強のペースを上げていく。ただ通学時間、学校に居る間は基礎的な勉強のペースを上げていくようにしていました。春の成績が悪かったため、受験直前まで成績が伸び悩むことはありませんでした。(自慢はできません...) しかし、成績が伸び悩む時は、人に相談してみるといいです。このように気持ちや悩みを聞いてくれる人がいると、勉強のペースも安定してきます。スランプを経験している方は、適切なアドバイスをもらって、しっかりとストレスを溜めずに精神的に安定した状態で勉強に取り組むことが大事だと思います。

受験生のみなさんへ

この欄での受験勉強を頑張っていると思います。周りの人も同じ環境であり、ラバブルも同じ環境です。友達と一緒に頑張りたい、高めの目標を勉強に取り組んでほしいです。(私も頑張っています!!)頑張ってください!!

